



ユーザーガイド

▶ Copyright© 2013-2024 LinkCube.LLC All Rights Reserved.

本ユーザーガイドの内容はすべて、著作権法によって保護されています。

当社の許諾を得ることなく、複写、複製、転載、頒布等の二次利用を禁止します。また、内容を変形、変更、加筆修正等を行うことも同様に禁止いたします。

▶ 登録商標について

Adobe および InDesign は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Macintosh、Mac OS は Apple Inc. の登録商標です。

その他、製品名は一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

第 1 章

LinkCube 差分反映の基本

差分データ作成、差分反映対象のドキュメント、コマ組単位の状態選択、といった全体の流れを解説します。



LinkCube

使用する InDesign バージョンを設定しよう

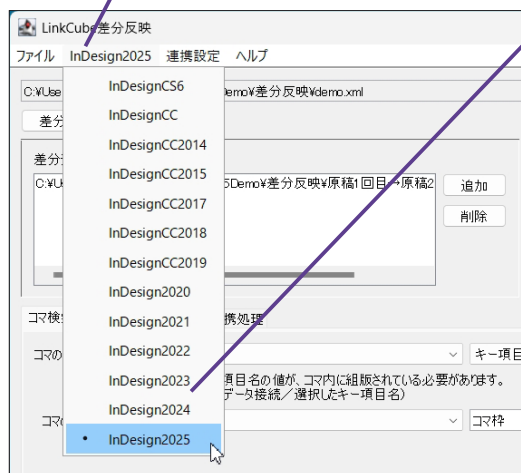
使用する InDesign バージョンを設定する

画面上部、InDesign メニューをクリックすると、使用するインデザインバージョンが選択できます。選択したバージョンはメニューに表示されます。そのまま保持するので、1 度だけ設定してください。

使用する InDesign バージョンを設定するには

① メニューの InDesignXXXX をクリック

② 使用する InDesignXXXX をクリック



差分データ (xlsx) を作成しよう

差分比較するファイル形式と条件

差分の比較ファイルは、拡張子 xlsx,xlsm,xls, csv,txt,tsv に対応しています。

xlsx,xlsm,xls は、エクセルファイルです。

csv は、文字コード:Shift-JIS、区切り文字:カンマのテキストファイルです。

tsv は、文字コード:UTF-8、区切り文字:タブのテキストファイルです。

txt は、文字コード:UTF-16LE、区切り文字:タブのテキストファイルです。

比較ファイルには、ヘッダー行（項目名の行）と、キー項目値（各行で重複しない値:JAN、製品型番など）が必要です。

差分データ作成時、基本ファイル、比較ファイルともに異なる拡張子が混在していても構いません。

差分比較ファイルの指定方法

差分比較ファイルの指定方法は 2 つです。

1 つめは基本ファイルと比較対象ファイルを指定します。基本ファイル、比較対象ファイルともに複数指定できます。基本ファイルと比較対象ファイルの総当たりで、差分データファイルを作成します。

作成する差分データのファイル名は、基本ファイル名→比較対象ファイル名_差分.xlsx となります。

2 つめは基本ファイルと比較対象フォルダを指定します。基本ファイル、比較対象フォルダともに複数指定できます。比較対象フォルダ内にある基本ファイルと同名ファイルで、差分データファイルを作成します。

作成する差分データのファイル名は、比較対象フォルダ名_基本ファイル名_差分.xlsx となります。

キー項目名の指定方法

基本ファイルを指定すると、キー項目名（例:JAN、注文番号など）を選択できます。ヘッダー行（項目名の行）が 1 行目ではない場合、「ヘッダー行の位置」で正しいヘッダー行位置を指定してください。

選択したキー項目名の値は、重複してはいけません。また、キー項目名は複数指定できます。複数指定した場合、複数の値を連結したものでキー項目値とします。

作成する差分データについて

追加された行は薄い青、変更は黄色、削除はグレーのセル背景色となります。

また項目名「差分種別」には追加、変更、削除の文字が入ります。エクセルのフィルター機能で利用できます。「比較対象がエクセルファイルの場合、差分をシートごとに分ける」のチェックを入れると、シートを維持し差分を作成します。チェックをはずすと項目名「シート名」に、シート名が入ります。

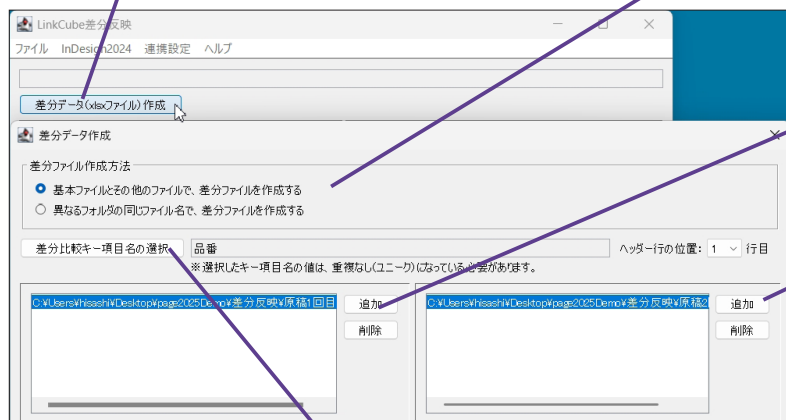
基本ファイルと比較対象ファイルを指定するには

① [差分データ作成 (xlsx ファイル) 作成] をクリック

② 差分ファイルの作成方法を選択

③ 基本ファイルを [追加] ボタンまたはドラッグ&ドロップで追加

④ 比較対象ファイルまたはフォルダを [追加] ボタンまたはドラッグ&ドロップで追加

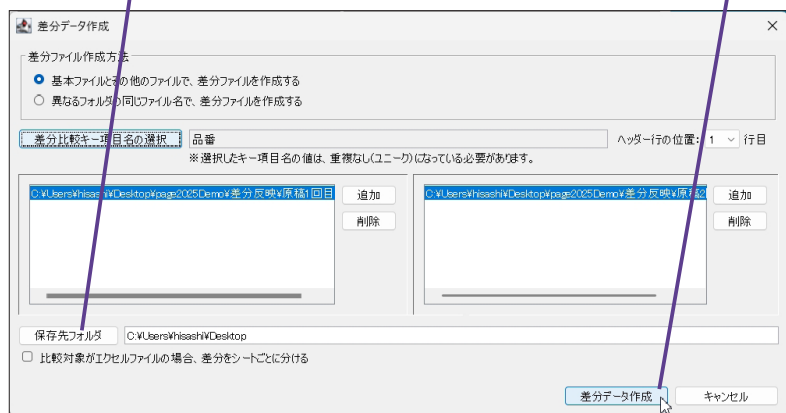


⑤ [差分比較キー項目名の選択] をクリックし項目名を選択

差分データを作成するには

① [保存先フォルダ] をクリックするか、コピー&ペーストでフォルダ入力

② [差分データ作成] をクリック



差分データ (xlsx ファイル) を指定しよう

xlsx ファイルを指定する

差分データ作成機能で作成した xlsx ファイルや、以下の 5 つの条件を満たすユーザー独自の xlsx ファイルを指定できます。

- 条件 1. エクセルファイル (xlsx ファイル) であること
- 条件 2. シートの 1 行目がヘッダー行 (項目名) であること
- 条件 3. 各行にキー項目値 (重複しない値) があること (JAN、申込番号、品番など)
- 条件 4. 組版に反映したい箇所のセル背景色が黄色 (RGB=255,255,0) であること
- 条件 5. キー項目値の範囲がページの場合、項目名「ページ番号」があること

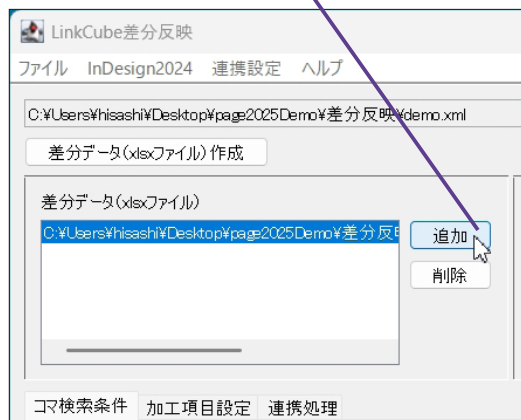
差分データのファイル一覧領域に、xlsx ファイルを複数追加できます。

ファイル一覧領域に、xlsx ファイルをドラッグ&ドロップしても追加できます。

ファイル一覧領域から xlsx ファイル削除するには、ファイル一覧から選択後、削除ボタンを使用してください。

差分データを指定するには

- ① [追加] またはドラッグ&ドロップで、差分データを追加する



インデサインドキュメントの条件

文字の反映箇所（段落・文字スタイルを使用）

文字に段落スタイル、または文字スタイル「データ接続」スタイルグループ内のスタイルが、適用されている必要があります。表組セル内の文字や、アンカー付きオブジェクト内の文字も同様です。

例えば、項目名（列名）「価格」の値を反映させるには、文字に文字スタイル「データ接続」スタイルグループ内の「価格」スタイルが適用されている必要があります。



【データ接続】スタイルグループ

作成したスタイルが、[データ接続] スタイルグループ内に正しく作成されているか、スタイルグループを展開、折りたたみ表示して確かめてください。

画像の反映箇所（オブジェクトスタイルを使用）

画像枠オブジェクトに、オブジェクトスタイル「データ接続」スタイルグループ内のスタイルが、適用されている必要があります。

例えば、項目名（列名）「商品画像」の値を反映させるには、画像枠オブジェクトにオブジェクトスタイル「データ接続」スタイルグループ内の「商品画像」スタイルが適用されている必要があります。

キー項目値が組版されている

コマ内にキー項目値（コマごとに重複しない値）が組版されている必要があります。

詳しくは Section 6 「コマ組版のキー項目名を指定しよう」をご覧ください。

コマ単位がグループ化されている、または枠で囲まれている

1 コマ単位でグループ化されているか、枠におおよそ囲まれている状態になっている必要があります。

詳しくは Section 7 「コマ組版の状態を指定しよう」をご覧ください。

既存ドキュメントを変換

同梱の「LinkCube データ接続スタイル変換」(datalinkcnv.zip) を使用すれば、既存ドキュメントにコマ枠やデータ接続スタイルグループ内のスタイルを自動作成します。

詳しくは LinkCube データ接続スタイル変換のユーザーガイドをご覧ください。

差分反映したい インデザインドキュメントを指定しよう

差分反映したいインデザインドキュメントを指定する

差分反映したいドキュメントを指定する方法は2つです。

1つめは、開いているアクティブなドキュメントへ差分データを反映します。

2つめは、InDesign ファイル (拡張子 indd) へ差分データを反映します。

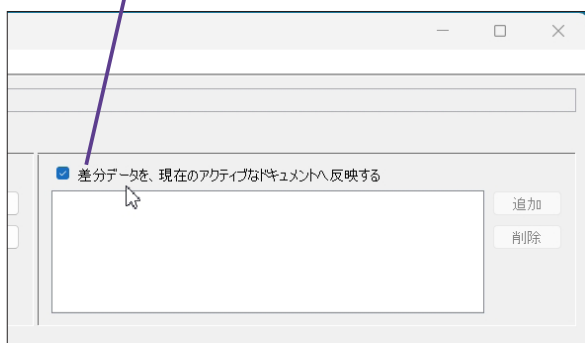
「差分データを、現在のアクティブなドキュメントへ反映する」のチェックをはずすと、indd ファイルを複数追加できます。

ファイル一覧領域に、indd ファイルをドラッグ&ドロップしても追加できます。

ファイル一覧領域から indd ファイル削除するには、ファイル一覧から選択後、削除ボタンを使用してください。

アクティブなドキュメントへ差分データを反映するには

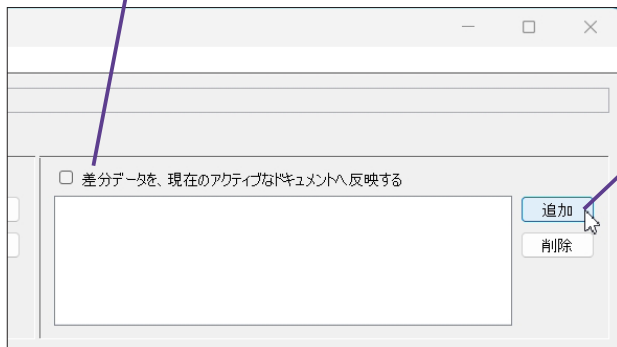
① [差分データを、現在のアクティブなドキュメントへ反映する] にチェックをいれる



複数インデザインファイルへ一括で差分データを反映するには

① [差分データを、現在のアクティブなドキュメントへ反映する] のチェックをはずす

② [追加] またはドラッグ&ドロップで、差分反映したい indd ファイルを複数選択する



コマ組版のキー項目名を指定しよう

コマ内にキー項目値の組版が必要

差分反映を行うには、コマ内にキー項目値（コマごとに重複しない値）が組版されている必要があります。例えば JAN、申込番号、注文番号、製品型番などです。一般的に JAN はカタログやチラシでは印刷しないため、印刷しないレイヤーのテキストフレームにするか、プリント属性で印刷しないテキストフレームにして組版してください。

また、キー項目値は段落スタイルまたは文字スタイル、スタイルグループ名「データ接続」内のスタイルが適用されている必要があります。（例：データ接続 / JAN）

キー項目名の指定時、先に差分データを追加する必要があります。差分データのヘッダー行（項目名）から、キー項目を選択します。

キー項目値の範囲

キー項目値（コマごとに重複しない値）の範囲は、2 種類です。

1 つめはドキュメントです。ドキュメント内でキー項目値が重複してはいけません。

2 つめはページです。ページ内でキー項目値が重複してはいけません。ドキュメントでキー項目値が重複していても構いません。ただし、差分データに項目名「ページ番号」が必要です。

キー項目名を設定するには

① キー項目名を選択する

② キー項目値の範囲を選択

コマ検索条件
加工項目設定
連携処理

コマのキー項目名: 品番

コマの組版状態:

価格

データ転送速度

データ転送能力

遅延時間

モデル

品番

商品説明

ページ番号

キー項目値(重複値なし)の範囲は ドキュメント

がります。

コマ枠 参照

コマ組版の状態を指定しよう

コマの組版状態による3つの方法

1つのドキュメントに複数のコマ組がある場合、1コマ単位を識別する必要があります。1コマ単位を識別する方法は3つです。

1つめは、1コマ単位がグループ化されている状態です。

2つめは、1コマ単位が指定レイヤーの枠（四角）に、おおよそ囲まれている状態です。

3つめは、1コマ単位が指定オブジェクトスタイルの枠（四角）に、おおよそ囲まれている状態です。

おおよそ囲まれている状態とは、配置してあるオブジェクトの中心が、コマ枠に入っていれば、コマ枠内のオブジェクトとして識別します。そのため、オブジェクトがコマ枠から少しはみだしていても構いません。

上記3つの方法から、1つ選択してください。1コマ単位の状態が混在（グループ化、レイヤー枠の混在など）していると正しく処理できません。

指定レイヤー枠で、対象レイヤーを指定

指定レイヤー枠の場合、レイヤーを指定する必要があります。参照ボタンでアクティブなドキュメントからレイヤーを選択するか、直接入力してください。

指定オブジェクトスタイル枠で、対象オブジェクトスタイルを指定

指定オブジェクトスタイル枠の場合、オブジェクトスタイルを指定する必要があります。参照ボタンでアクティブなドキュメントからオブジェクトスタイルを選択するか、直接入力してください。

1コマ組版単位がグループ化されているときは

① グループを選択

コマ検索条件 加工項目設定 連携処理

コマのキー項目名: 品番 キー項

※ 選択するキー項目名の値が、コマ内に組版されている必要があります。
(スタイル名は、データ接続/選択したキー項目名)

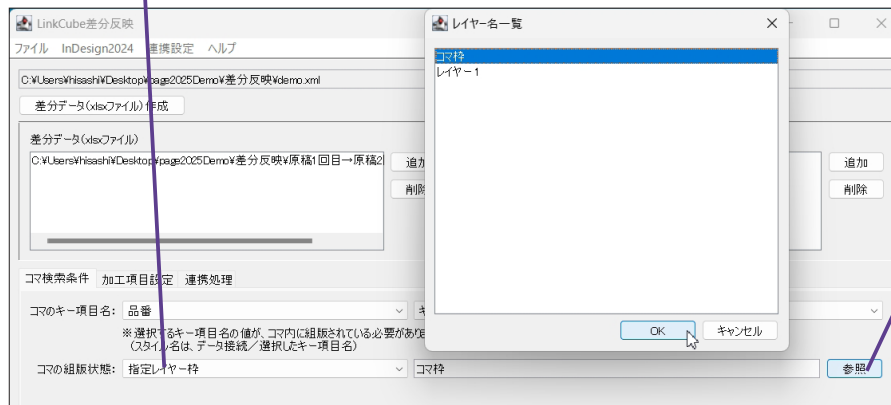
コマの組版状態: グループ コマ枠

グループ
グループ
指定レイヤー枠
指定オブジェクトスタイル枠

1コマ組版単位に枠（レイヤー）があるときは

① 指定レイヤー枠を選択

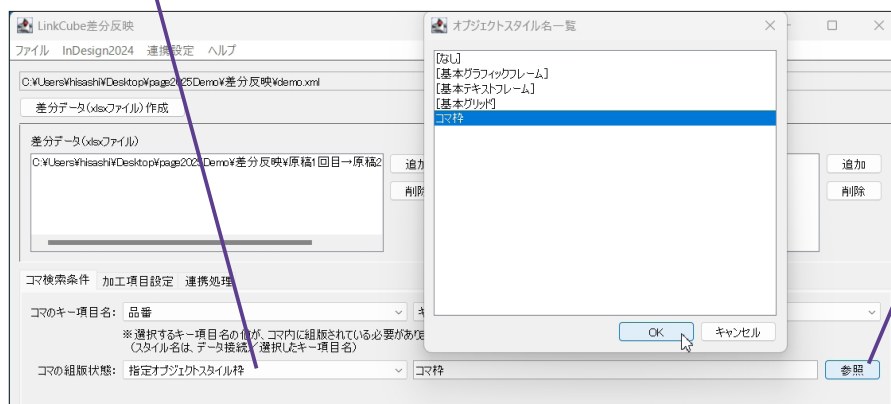
② [参照] をクリックし、レイヤーを1つ選択



1コマ組版単位に枠（オブジェクトスタイル）があるときは

① 指定オブジェクトスタイル枠を選択

② [参照] をクリックし、オブジェクトスタイルを1つ選択



差分反映しよう

保存先フォルダの指定

「差分データを、現在のアクティブなドキュメントへ反映する」のチェックをはずすと入力できます。
「保存先フォルダ」ボタンで、差分反映結果の indd 保存先フォルダを指定するか、フォルダ直接入力（コピー＆ペースト）してください。保存先フォルダを指定しない(空のまま)場合、indd ファイルを上書き保存します。

修正（差分反映）した箇所の確認

「差分反映した箇所を赤枠で囲む」にチェックをいれると、どこを修正（差分反映）したか確認することができます。赤枠は印刷しないレイヤーで作成するので、そのままでも問題ありません。

差分反映の実行

「差分反映を実行」ボタンをクリックすると実行します。
「差分データを、現在のアクティブなドキュメントへ反映する」にチェックが入っている場合、1 回の Undo で、差分反映前に戻ります。（LinkCube 文字あふれ+と連携している場合は不可）

保存先フォルダを指定するには

- 1 「保存先フォルダ」をクリックし、指定フォルダを選択

保存先フォルダ

※ 保存先フォルダを指定しない(空)の場合、inddファイルを上書きします。

☒ 差分反映した箇所を赤枠で囲む

差分反映を実行

差分反映した箇所を確認するには

- 1 「差分反映した箇所を赤枠で囲む」にチェックを入れる

保存先フォルダ

※ 保存先フォルダを指定しない(空)の場合、inddファイルを上書きします。

☒ 差分反映した箇所を赤枠で囲む

差分反映を実行

差分反映するには

- 1 「差分反映を実行」をクリック

保存先フォルダ

※ 保存先フォルダを指定しない(空)の場合、inddファイルを上書きします。

☒ 差分反映した箇所を赤枠で囲む

差分反映を実行

設定した内容を保存しよう

設定内容の保存し管理する

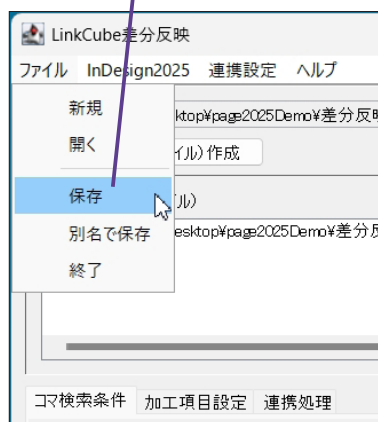
現在の設定内容を xml ファイルで保存することができます。

保存した xml ファイルを読み込むには、「ファイル」メニューから「開く」し、xml ファイルを選択するか、画面上部の xml ファイル表示領域にドラッグ&ドロップしてください。

そのほか、「ファイル」メニューの「新規」は設定内容をクリアします。「別名で保存」は設定内容を別名で保存します。

設定内容を保存するには

① メニューの [ファイル] [保存] をクリック



第 2 章

LinkCube 差分反映の詳細

特殊文字の扱い、差分反映時のデータ加工、LinkCube 文字あふれ+やユーザースクリプトとの連携など、より詳細な使用方法を解説します。



LinkCube

特殊文字の扱い

対応している特殊文字

対応している特殊文字は、以下の表です。

作成した差分データを、段落改行 <000D>、強制改行 <000A>、ほかの文字に置換する場合は、次のセクション「加工項目を作ろう」、セクション「文字を置換しよう」をご覧ください。

対応している特殊文字の一覧

タイプ	特殊文字	差分反映での使用文字
分割文字	段落改行	<000D>
	強制改行	<000A>
特殊文字のその他	タブ	<0009>
	右インデントタブ	<0008>
	ここまでインデント	<0007>
	先頭文字スタイルの終了	<0003>
	結合なし	<200C>
特殊文字のハイフンおよびダッシュ	EM ダッシュ	<2014>
	EN ダッシュ	<2013>
	任意ハイフン	<00AD>
	分割禁止ハイフン	<2011>
空白文字	EM スペース	<2003>
	EN スペース	<2002>
	分割禁止スペース	<00A0>
	分割禁止スペース（固定幅）	<202F>
	極細スペース	<200A>
	1/6 スペース	<2006>
	細いスペース	<2009>
	1/4 スペース	<2005>
	1/3 スペース	<2004>
	句読点等の間隔	<2008>
	数字の間隔	<2007>
	フラッシュスペース	<2001>

加工項目を作ろう

加工が必要なデータ項目分だけ作る

加工項目設定がなくても差分反映できますが、項目データを加工したい場合、設定を追加します。

加工項目設定タブをクリックすると、加工項目の追加、複製、編集、削除が行えます。

加工したいデータ項目名を、そのまま加工項目名にします。例えば、データ項目名「価格」の値に三桁カンマを挿入して書き出したい、とします。その場合、加工項目名は「価格」となります。

データ項目名「通常価格」と「特別価格」に三桁カンマを挿入して書き出したい、とします。その場合、加工項目名を「通常価格」「特別価格」の2つを追加してもよいのですが、今回は加工内容（三桁カンマを挿入したい）が同じなので、「通常価格 | 特別価格」という加工項目名にすれば、1つの追加で済みます。「|」は、「または」という意味になります。

その他の加工項目名のルールとして、「* 価格」とすれば、最後が「価格」で終わる項目名に一致します。「*」はワイルドカードです。「* 価格 | 説明 *」のように「|」と同時に使う事もできます。

正規表現で一致させたい場合は、「<>」を使用します。例えば、「特別」で始まる4文字の項目名にマッチさせたい時は、「<^ 特別 ..>」とします。

ワイルドカードや正規表現を使用した加工項目を複数追加する場合、加工項目の順番に注意してください。使用する加工項目は、上から順に検索します。一致する加工項目名が見つければ、それ以降、検索しません。例えば、1番目に加工項目名「*」があり、2番目に「* 価格」がある場合、「* 価格」の加工内容は処理されません。全ての項目名は、1番目の「*」で一致するためです。

加工項目を追加するには

①加工項目設定タブをクリック

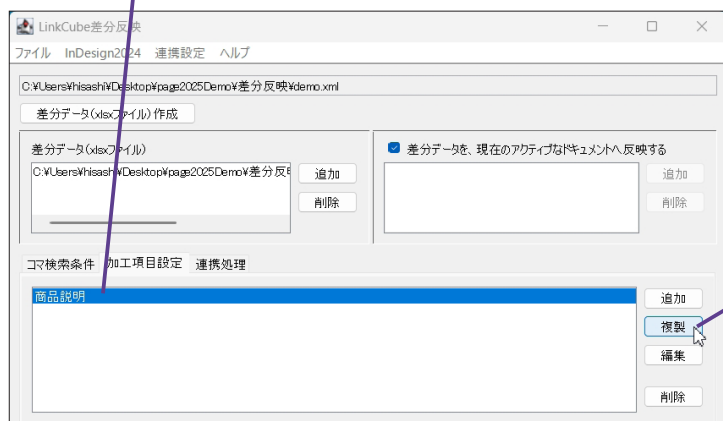
② [追加] をクリック

③加工する項目名を入力

④ [OK] をクリック

加工項目を複製するには

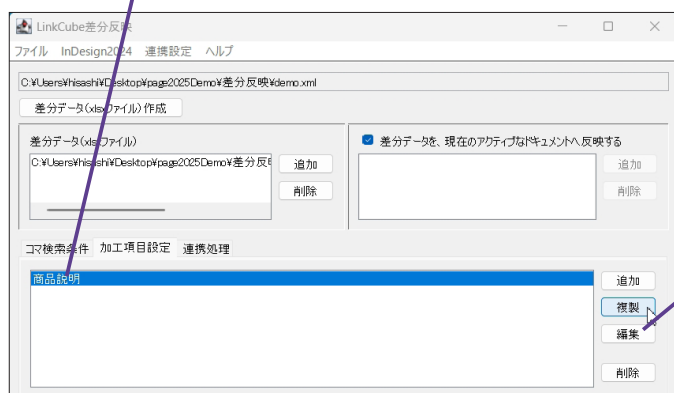
① 複製元にする加工項目を選択



② [複製] をクリック

加工項目を編集するには

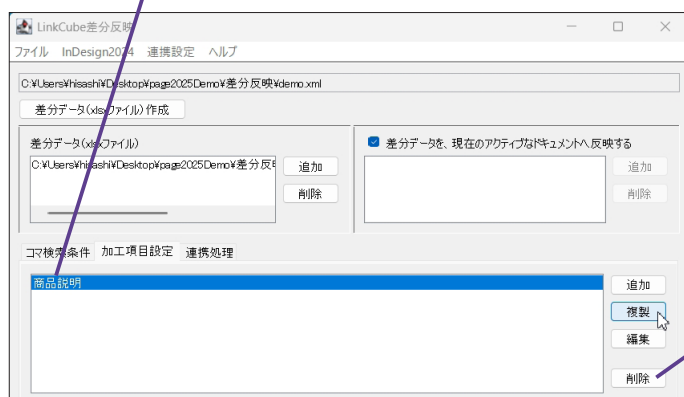
① 編集する加工項目を選択



② [編集] をクリックするか、選択している加工項目をダブルクリック

加工項目を削除するには

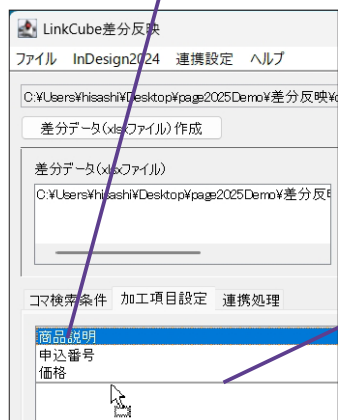
① 削除する加工項目を単一、または複数選択



② [削除] をクリック

加工項目を並び変えるには

① 並び替えたい加工項目を単一、または複数選択



② ドラッグ&ドロップ

文字を置換しよう

単純置換や正規表現置換で文字を置換する

加工項目の置換設定で、差分データを置換して反映（組版）することができます。数字、カナ、英字、記号を半角や全角に統一したり、この文字をこの文字に、といった置換リストを登録できます。

例えば、◎を段落改行<000D>にしたい場合、置換リストの置換前に◎、置換後に<000D>とします。指定文字の置換リストは、上から順番に置換処理します。1番目の置換処理結果を2番目の置換処理に、2番目の置換結果を3番目の…、と続きます。置換処理順で結果が変わる場合があるので、注意してください。

置換リストは、ドラッグ&ドロップで並び替えること（置換処理順の変更）ができます。

置換リストで、正規表現列にチェックを入れれば、正規表現の置換機能を使用する事ができます。

置換リストのファイル書き出し、ファイル読み込みの形式は、csv、txt、tsvの3つです。

csvは文字コードが、シフトJIS、項目区切りカンマです。

txtは文字コードが、ユニコード(UTF-16LE)、項目区切りタブ文字です。

tsvは文字コードが、ユニコード(UTF-8)、項目区切りタブ文字です。

数字、カタカナ、英字、記号を置換するには

① [置換] タブをクリック

② [数字:] [カナ:] [英字:] [記号:] から置換処理を選択

加工項目の編集

加工項目名:

※加工項目名は、ワイルドカード(*価格)、複数項

置換
付加
結合

数字: 半角に置換する

カナ: 置換しない

英字: 置換しない

記号: 置換しない

置換前

置換後

置換リストを追加するには

① [追加] をクリック

② 置換前、置換後をダブルクリックし、文字を入力

③ 正規表現を使用する場合はチェックを入れる

加工項目名: 商品説明
※加工項目名は、ワイルドカード(*価格)、複数項目指定(税込価格|本体価格)、正規表現指定(<注文番号.>)が使用できます。

置換 付加 結合

数字: 置換しない
カナ: 置換しない
英字: 置換しない
記号: 置換しない

置換前	置換後	正規表現
<000D>	[[000A]]	<input checked="" type="checkbox"/>

追加
複製
削除

置換リストを複製するには

① 複製元になる置換行をクリック

② [複製] をクリック

加工項目名: 商品説明
※加工項目名は、ワイルドカード(*価格)、複数項目指定(税込価格|本体価格)、正規表現指定(<注文番号.>)が使用できます。

置換 付加 結合

数字: 置換しない
カナ: 置換しない
英字: 置換しない
記号: 置換しない

置換前	置換後	正規表現
<000D>	[[000A]]	<input type="checkbox"/>

追加
複製
削除

置換リストを編集するには

① 置換前、置換後をダブルクリックし、文字を入力

② 正規表現を使用する場合はチェックを入れる

加工項目名: 商品説明
※加工項目名は、ワイルドカード(*価格)、複数項目指定(税込価格|本体価格)、正規表現指定(<注文番号.>)が使用できます。

置換 付加 結合

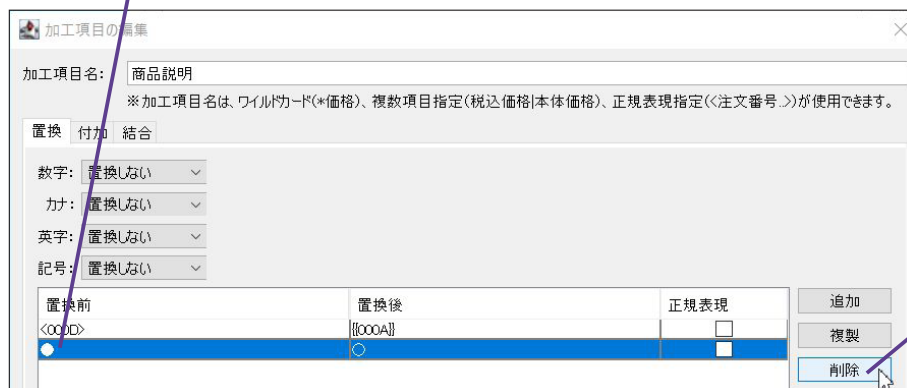
数字: 置換しない
カナ: 置換しない
英字: 置換しない
記号: 置換しない

置換前	置換後	正規表現
<000D>	[[000A]]	<input type="checkbox"/>

追加
複製
削除

置換リストを削除するには

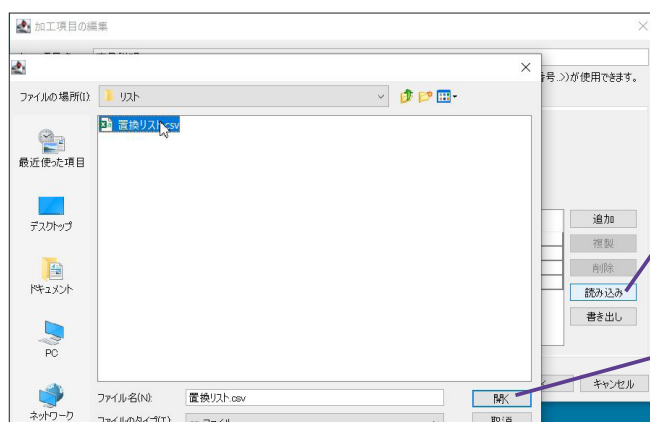
① 削除する置換リストを
単一または複数選択



② [削除] をクリック

置換リストを読み込むには

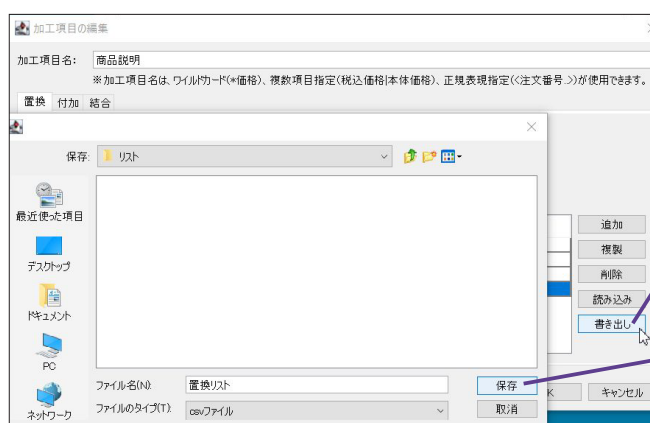
① [読み込み] をクリック



② 読み込みたいファイルを選択し、
[開く] をクリック

置換リストを書き出すには

① [書き出し] をクリック



② 書き出しファイル名を入力し、
[保存] をクリック

置換リストを並び変えるには

① 並び替えたい置換リストを単一、または複数選択

加工項目の編集

加工項目名: 商品説明
※加工項目名は、ワイルドカード(*価格)、複数項目指定(和)

置換 付加 結合

数字: 置換しない
カナ: 置換しない
英字: 置換しない
記号: 置換しない

置換前	置換後
<000D>	[[000A]]
●	○
②	2.
①	1.

② ドラッグ&ドロップ

文字を付加しよう

単純付加や項目データ条件で文字を付加する

加工項目の付加設定で、差分データにない文字を付加して組版する事ができます。三桁カンマを挿入したり、条件が一致した場合、項目データの前後に指定した文字を付加できます。

三桁カンマにチェックを入れると、項目データに、三桁カンマを挿入できる数字がある場合、カンマを挿入します。

付加文字リストには、項目名、値、条件、続き、前付加文字、後付加文字を設定できます。

項目名は、差分データの項目名です。入力しない場合、現在設定中の加工項目名となります。

値は、左列の項目名の値です。

条件は、左列の値に対しての条件です。条件として、「で始まる」「で始まらない」「で終わる」「で終わらない」「と等しい」「と等しくない」「を含む」「を含まない」「条件なし」「正規表現マッチ」があります。

「条件なし」は、組版データに必ず前付加文字、後付加文字を付加します。項目名、値は無視します。

「条件なし」以外は、項目名、値、条件が一致した時、組版データに前付加文字、後付加文字を付加します。

続きは、複数条件を設定するときに使用します。続きには、「かつ」「または」「なし」があります。

例えば、項目名「価格区分」の値が「特別価格」の場合に、項目名「品番」の前に「★」を付加したい、とします。

その場合、加工項目名は「品番」

項目名は「価格区分」、値は「特別価格」、条件は「と等しい」、続きは「なし」、前付加文字は「★」となります。

複数条件の例は、項目名「価格区分」の値が「特別価格」で、かつ、項目名「カラー」の値が「赤」の場合、項目名「品番」の前に「★」を付加したい、とします。

その場合、加工項目名は「品番」

項目名は「価格区分」、値は「特別価格」、条件は「と等しい」、続きは「かつ」となり、追加ボタンで1行追加し、項目名は「カラー」、値は「赤」、条件は「と等しい」、続きは「なし」、前付加文字は「★」となります。

付加文字リストを複数登録する場合、順番に注意してください。付加文字リストは上から順に検索します。条件が一致すると、それ以降、検索しません。「条件なし」は、必ず一致と扱うので、付加文字リストの一番下に登録してください。

例えば、1番目に「条件なし」があり、2番目に「と等しい」がある場合、組版データが2番目の条件に一致しても、2番目の付加文字は処理されません。全て1番目の「条件なし」で一致するためです。

三桁カンマを挿入するには

① [付加] タブをクリック

② [三桁カンマを挿入する] にチェックを入れる

付加文字リストを追加するには

① [追加] をクリック

② 項目名と値をダブルクリックで入力。条件、続きは選択。前付加文字、後付加文字をダブルクリックで入力

加工項目の編集

加工項目名: 商品説明
※加工項目名は、ワイルドカード(*価格)、複数項目指定(税込価格|本体価格)、正規表現指定(<<注文番号>>)が使用できます。

置換 付加 結合

☐ 三桁カンマを挿入する

項目名	値	条件	続き	前付加文字	後付加文字
品番	A-	で始まる	かつ		
商品番号	[1-9]	正規表現マッチ	なし	()

追加 複製 削除

付加文字リストを複製するには

① 複製元になる付加文字行を単一選択

② [複製] をクリック

加工項目の編集

加工項目名: 商品説明
※加工項目名は、ワイルドカード(*価格)、複数項目指定(税込価格|本体価格)、正規表現指定(<<注文番号>>)が使用できます。

置換 付加 結合

☐ 三桁カンマを挿入する

項目名	値	条件	続き	前付加文字	後付加文字
品番	A-	で始まる	かつ		
商品番号	[1-9]	正規表現マッチ	なし	()

追加 複製 削除

付加文字リストを編集するには

① 項目名と値をダブルクリックで入力。条件、続きは選択。前付加文字、後付加文字をダブルクリックで入力

加工項目の編集

加工項目名: 商品説明
※加工項目名は、ワイルドカード(*価格)、複数項目指定(税込価格|本体価格)、正規表現指定(<<注文番号>>)が使用できます。

置換 付加 結合

☐ 三桁カンマを挿入する

項目名	値	条件	続き	前付加文字	後付加文字
品番	A-	で始まる	かつ		
商品番号	[1-9]	正規表現マッチ	なし	()

追加 複製 削除

付加文字リストを削除するには

① 削除する付加文字リストを単一または複数選択

② [削除] をクリック

加工項目の編集

加工項目名: 商品説明
※加工項目名は、ワイルドカード(*価格)、複数項目指定(税込価格|本体価格)、正規表現指定(<<注文番号>>)が使用できます。

置換 付加 結合

☐ 三桁カンマを挿入する

項目名	値	条件	続き	前付加文字	後付加文字
品番	A-	で始まる	かつ		
商品番号	[1-9]	正規表現マッチ	なし	()

追加 複製 削除

付加文字リストを並び変えるには

①並び替えたい付加文字リストを単一、または複数選択

加工項目の編集

加工項目名: 商品説明
※加工項目名は、ワイルドカード(*価格)、複数項目指定(税込価格|本体価格)、正規表現指定(<注文番号.>)が使用できます。

置換 付加 結合

☐ 三桁カンマを挿入する

項目名	値	条件	続き	前付加文字	後付加文字
品番	A~	で始まる	かつ		
商品番号	[1-91-9]	正規表現マッチ	なし	()

追加
複製
削除

②ドラッグ&ドロップ

データが空の場合、画像フレームを削除しよう

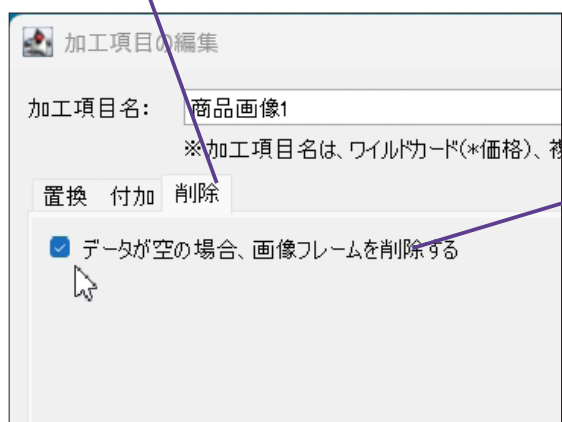
画像項目のデータが空の場合

差分データの画像項目データが空の場合、組版すると画像を削除しますが、一緒に画像フレームも削除することができます。

削除タブの「データが空の場合、画像フレームを削除する」にチェックを入れると、画像フレームを削除します。

データが空の場合、画像フレームを削除するには

① 削除タブをクリック



② 「データが空の場合、画像フレームを削除する」にチェックをいれる

LinkCube 文字あふれ+、ユーザースクリプトと連携しよう

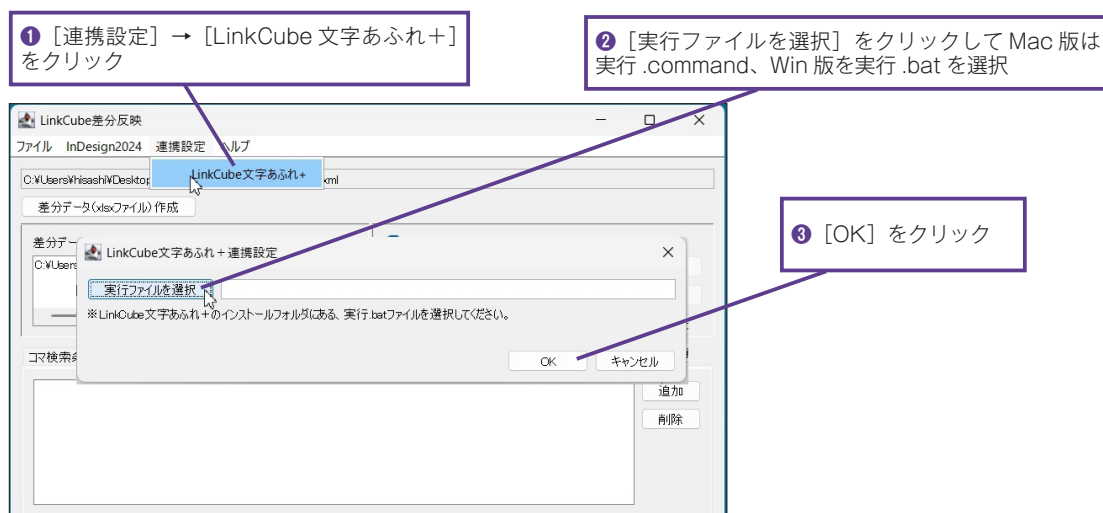
LinkCube 文字あふれ+の連携設定

LinkCube 文字あふれ+ と連携することで、差分反映後（組版後）、文字あふれ処理を実行する事ができます。連携設定は、上部メニューの「連携設定」→「LinkCube 文字あふれ+」→ Win 版は「実行 .bat」、Mac 版は「実行 .command」ファイルをフルパスで設定します。

連携処理に（json、JavaScript、AppleScript、VBScript ファイル）を指定

LinkCube 文字あふれ+ で保存した設定ファイル（json ファイル）を、連携処理に追加できます。その他、ユーザースクリプト（JavaScript、AppleScript、VBScript ファイル）も追加できます。追加したファイルは差分反映終了後、実行されます。

LinkCube 文字あふれ+を連携設定するには



LinkCube 文字あふれ+やユーザースクリプトを追加するには

